

第43回日本血液事業学会総会
総会長 清水 博

第43回日本血液事業学会総会会告(2)

第43回日本血液事業学会総会を下記のとおり開催いたします。会員の皆様には多数ご発表、ご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

【会 期】	2019年10月2日(水)・3日(木)・4日(金)
【会 場】	仙台国際センター 会議棟及び展示棟
【テ ー マ】	進化する医療と血液事業の調和を目指して
【総会 HP】	https://www.med-gakkai.org/sjbp43/

1 特別講演

- (1) 医療の経済学的評価と今後の医療政策について
- (2) 社会の変化に適合した今後の血液事業政策について
- (3) 医療政策の動向
- (4) Muse 細胞を用いた新しい再生医療について
- (5) iPS 細胞を用いた血小板製剤の臨床応用の展望
- (6) 東日本大震災を経験した危機管理
- (7) 新渡戸稲造の思想と日本赤十字社

2 教育講演

- (1) 血漿連産品を用いた止血治療と抗体薬による補完療法
- (2) 大量出血対応について
- (3) 輸血後感染症について
- (4) 血液製剤による細菌感染と不活化について
- (5) 貧血をめぐる最近の話題
- (6) まれな血液型に関する最新の知見
- (7) PIC/S GMP の最新の動向及び今後の血液事業における対応について
- (8) クレームを有する献血者への血液センターの対応策と取り組み

3 シンポジウム

- (1) 血液法・薬機法改正に伴う血液事業の変革
- (2) 供給体制と需給管理の改善
- (3) 若年層への献血推進 その現状と課題
- (4) 医療連携を推進する医薬情報活動
- (5) 採血副作用
- (6) 人材育成について
- (7) 新たな製造・製剤対応
- (8) 造血幹細胞移植の現在と未来

4 ワークショップ

- (1) 献血推進・予約システムの導入と課題
- (2) 災害時の対応（危機管理）

5 特別企画

- (1) 特別企画シンポジウム「血液事業本部・部会からの報告」
平成30年度に重点領域を検討・総括する会議体として新設された「献血者対応部会」、「医療機関対応部会」、「技術安全対応部会」及び「マネジメント部会」から活動を報告するとともに、今後のビジョン等を講演いただきます。
- (2) 改善活動本部長賞候補演題
血液事業本部及び各血液センターが取り組む改善活動を更に活性化し、その推進を事業の一環として継続させることを目的とします。応募のあった改善事例の中から優秀な事例を選定し、発表及び表彰を行います。また、口演発表とともにポスター掲示を予定しています。
- (3) ブロック血液センター所長推薦優秀演題
血液センター会員から演題登録された一般演題中、所属の血液センターで優秀と考えられる演題1題を各ブロック血液センター所長へ推薦していただき、各ブロック血液センター所長に自施設の優秀演題と合わせて、それらの中から2～3演題を選考していただきます。その後、各ブロック血液センター所長から推薦された演題について、プログラム委員会でブロックごとに1題の優秀演題を決定させていただきます。
- (4) 血液事業動画コンテスト2019
「ひとりでも多くの人を救いたい、献血してくれた人にありがとうの気持ちを伝えたい」といった思いを抱いて血液事業に携わる人々が、献血推進や赤十字活動の広報のために制作した動画を発表する場を設けることで、広く情報共有を図り、共に血液事業を担う者としての相互理解を深める。また、優れた作品を表彰することにより、広報技術の向上を目指し、今後の血液事業に役立てることを目的とし、活動PR部門及び献血CM部門の2部門に応募いただき、優秀作品を決定します。

6 共催（ランチョン）セミナー

学会期間中の昼の時間帯に、8つの共催セミナーを開催します。

- (1) 人工心臓と高分子 vWF に関する研究
- (2) 新生児輸血の実際
- (3) 血漿分画製剤の需要動向について
- (4) 血液製剤適正使用ガイドライン update（科学的根拠に基づいたガイドライン）
- (5) 最新の血液疾患の臨床
- (6) ACE910 とリコンビナント凝固第Ⅷ因子
- (7) 血小板採取に関わるテーマ
- (8) 血糖コントロールの最前線

参加は全て事前予約制としております。事前参加登録期間中のご登録をお願いします。

会場に入る際、参加登録の際に配付した名札に添付される共催セミナー券を提出し、お弁当をお受け取り下さい。

7 一般演題

口演発表又はポスター発表のいずれかとします。なお、発表形式はプログラム構成上変更させていただく場合もありますのでご了承ください。

発表要項及び発表日程はホームページでお知らせいたします。

(1) 口演発表は7分、討論3分を予定しています。

(2) ポスター発表は、ポスターを掲示するとともに、掲示とは別の場所において Power Point (Windows 版) による口演を行います。なお、掲示物前における発表及び質疑応答は行いません。口演4分、討論3分を予定しています。

8 発表演題の提出

(1) ブロック血液センター所長推薦優秀演題、特別講演、教育講演、シンポジウム及びワークショップの演者は、発言内容(演題名、所属、氏名)を含めて和文3,200字以内(図表、写真等は1点400字に換算)の発表論文を総会終了後、4週間以内に運営事務局まで提出してください。

(2) 一般演題は予め発表論文を作成する必要はありませんが、一部の演題について総会終了後、機関紙「血液事業」編集委員長から、論文としての投稿推薦を当該演者あてにお願いする場合があります。

9 関連行事

会員交見会

日時 2019年10月2日(水) 18:00より

場所 仙台国際センター 展示棟 展示室2及び3

10 プログラム編集

以下の方々にプログラム委員をお願いしました。

入田 和男、大西 一功、清水 博、高橋 孝喜、千葉 広一、椿 和央、
中島 一格、藤村 吉博、牟禮 一秀

(敬称略、50音順)